

授 業 科 目 名	必修・ 選択別	単位数	対象 学年	学 期	曜・限	主に使用 する言語	その他に使用 する言語	担当形態
プライマリーメディカルケア	必修	講義 1	4	2		日本語	英語	オムニバス

【担当教員】 救急医学講座・安部 隆三

【科目名の英文】 Primary Medical Care

【授業の概要・到達目標】

救急疾患(内因性および外因性)を主な対象として、統合された知識、技能、態度に基づき、患者の立場を尊重しつつ、全身を総合的に診療するための実践的能力を獲得する。さらに、多数傷病者に対する災害医療についてもより深く学ぶ。

具体的な到達目標	医学科ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 救急外来でのAdvanced Triageの方法を説明できる			○			
2. 重症・不安定傷病者へのアプローチ方法を説明できる	○		○			
3. ABCDEアプローチによる系統的な観察と評価、同時に必要な処置・蘇生の実施方法について、症例を用いて説明できる	○					
4. 循環不全、呼吸不全、中枢神経障害の評価と治療について、症例を用いて説明できる			○			
5. 院内急変患者に対する対応と急変・重症化の予防に関して説明できる	○					○
6. 多数傷病者に対するトリアージ方法と基本的考え方を説明できる		○		○		
各DPへの関連度 (計10)	4	1	2	1		2

【授業の内容】

回数	授業項目	授業内容	担当講座・教員	方法
1	重症・不安定傷病者へのアプローチ1	病院前診療	救急医学・松本	講義
2	重症・不安定傷病者へのアプローチ2	循環不全・呼吸不全の評価と治療	救急医学・黒澤	講義
3	重症・不安定傷病者へのアプローチ2	課題を用いたグループワーク	救急医学・黒澤	グループワーク
4	重症・不安定傷病者へのアプローチ3	中枢神経障害の評価と治療	救急医学・梅津	講義
5	重症・不安定患者へのアプローチ3	課題を用いたグループワーク	救急医学・梅津	グループワーク
6	特別講義	救急臨床推論	救急医学・望月	講義
7	特別講義	救急臨床推論	救急医学・望月	講義

【アクティブラーニングの内容】

事前学習を行い、それを元に授業初めに小テストを行う。講義内容に発問を活用しつつ、講義中にディスカッションを行い、内容の発表を行う。

【その他の工夫】

講義スライドデータはPDF ファイルで配布予定

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	参考書、配布資料を用いた予習。事前課題があれば、Moodle 上で通知する。(1.5時間)。
事後学修	参考書、配布資料を用い当日の講義復習(2時間)。
想定時間合計	24.5時間

【教科書】

Moodle で資料を提示する。

【参考書】

標準救急医学 医学書院；第5版 2014年1月 ISBN-10: 4260017551

救急診療指針 へるす出版；改訂6版 2024年4月 ISBN-978-4-89269-945-0

【成績評価方法及び評価の割合】

講義中に実施する小テスト(30%)、期末試験(70%)。総合的に60%以上の得点で合格とする。

【注意事項】

【備考】

リンク		
	URL	
教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	医師として救急診療を行っているもの	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者	なし	
実務経験をいかした教育内容	救急診療経験を生かした講義を行う。	
授業形態	対面	